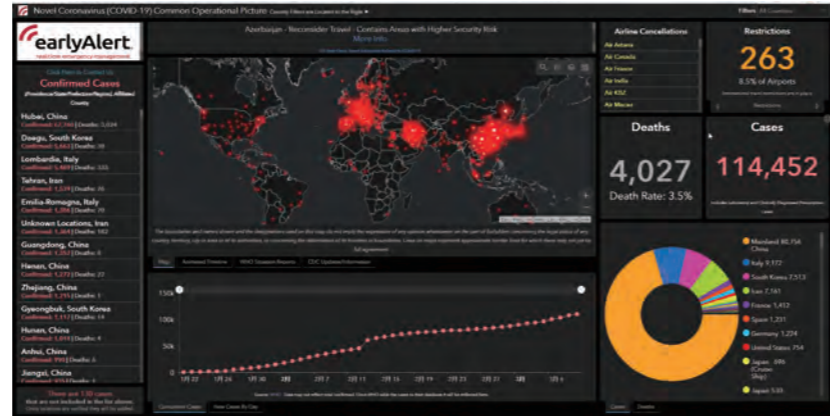


Keyword：新型コロナウイルス（その2）

連日、状況が刻々と変化するため、早めに書き過ぎた原稿を4回も書き直しました。新型コロナウイルスの感染は拡大する一方です。ようやく、WHO（世界保健機構）のテドロス事務局長も、世界の状況を冷静に判断できるようになり、パンデミックが目前に迫って来ていることを認識し始めたようです（3/10 現在）。思い起こせば、一番最近のパンデミックは、2009年に発生した新型インフルエンザ（H1N1 亜型、豚インフルエンザ）でした。この時の新型インフルエンザは弱毒性であり、それほど大騒ぎはしなかったものの、WHOはそのパンデミックの指標となるフェーズを「6」と宣言しました。このフェーズの考え方が大きく取り上げられたのは、その数年前に発生した、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1 型）からでした。当時、東原英夫さんが知事をされていた宮崎県を中心に、多くのニワトリが殺処分されたニュースを記憶されている方も多いと思います。この時は、WHOのホームページで、常にパンデミックまでのフェーズが掲載され、フェーズ「3」まで達していました。幸い、その後感染の拡大が収まり、フェーズがそれ以上に上がることはありませんでした。何故、感染が広がらなかったかと言うと、致死率が高く感染して発症した人が、外を出歩くことが出来なかったため人と接触できなかったからです。こんな致死率の高い新型インフルエンザがパンデミックを起こしたら、人類は大変なことになると思います。そういう意味では、フェーズ「3」が一つの臨界点になります。これを過ぎると、その流れを止めることが非常に困難になります。このフェーズというものは、WHOが感染症の感染力や流行の、その時々状況に応じて、パンデミックに至るまでの過程を6段階に分類したものです。下の表は、新型インフルエンザウイルスを対象とした内容になっていますが、ウイルスは違えど同じことが言えます。この内容からすると、既にフェーズは「4」以上になっていると想定できます。しかし、不思議なことにWHOは、新型インフルエンザ以外に、このようなパンデミックを宣言する公式な規定はないと言っています（規定がないにどうやって判断するの?）。

実は、前回のパンデミック宣言は、当時の陳馮富珍（マーガレット・チャン）事務局長が行ったものですが、結果的には季節性のインフルエンザと大差ないレベルのインフルエンザだったと、後から、この誤報とも言える宣言に批判が高まり、パンデミック宣言に至った経緯が調査されました。最終的には欧州議会が、WHOの宣言は偽のパンデミックであったとして問題提起をしました。WHOの意思決定には製薬会社への忖度が大きく影響した可能性が高いと見えています。そういう経緯もあるわけですから、ただ、このパンデミックの宣言が、後ろにズレればズレるほど、オリンピックの開催は危ぶまれます。オリンピックより以前に、先日の厚労省の発表によって、弊社が担当を予定していた3月～4月の大小のイベントはほぼ全て中止となり、我々のような業界を含め、飲食店や宿泊施設、百貨店、旅行・航空会社などにとっては大打撃です。ここで述べるまでもなく、学校の臨時休校など、他にも多くの問題が山積しています。タラレバを言っても仕方ないですが、もっと早くに中国からの人の流れを止めていれば、ここまで日本で拡大することはなかったでしょう。しかし、既に日本だけの問題ではありません。寧ろ、韓国やイタリアなどでも感染者が爆発的に増え続けていますので、日本よりも深刻な事態になっています。今回は、WHOがどのような基準でパンデミックを判断するのか全く見えて来ません。実際には、中国では感染者数のカウント自体が他国と違って、ウイルス陽性でも、発症していない人は人数に入っていないため、実際の感染者数は、4～5倍多いものと推測できます。過去の経緯を知っているテドロス事務局長にとっては、オリンピック開催にも影響を与える、かなり勇気のいる決断になります。この adtain が発送される頃には、さらに世界の感染者数が増加し、WHOの宣言が出ているかもしれません。あまりにもパンデミック宣言を慎重になり過ぎて、遅くなればなるほど、「もっと早く宣言しておけば、各国がもっと早期に対応に取り組み、ここまで急速に拡大することはなかったのに」と、再び批判を受けかねない状況です。



新型コロナウイルス感染者（2020.3.10 現在）

表、WHO 世界インフルエンザ事前対策計画によるパンデミック・インフルエンザの6つの分類（2005 年版）

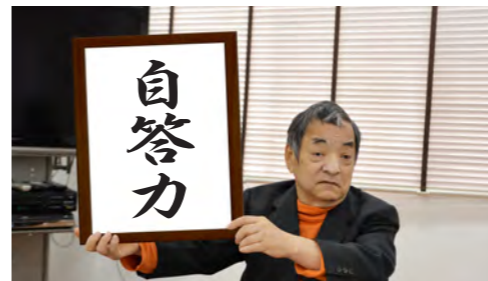
フェーズ	定義
1	ヒトにおいては新たな亜型のインフルエンザウイルスは同定されていない。動物においては、ヒトに感染する恐れのあるインフルエンザウイルスが存在している。もしも動物に見られたとしても、ヒトへの感染リスクは小さいと考えられる。
2	ヒトにおいては新たな亜型のインフルエンザウイルスは同定されていない。動物からヒトへ感染するリスクが高いウイルスが検出。ヒトへの発症に対してかなりのリスクを提起する。
3	新しいヒト感染が見られるが、ヒトからヒトへの感染による拡大は見られない、あるいは非常にまれに密接な接触者（例えば家族内）への感染が見られるにとどまる。
4	限定されたヒトからヒトへの感染の小さな集団（クラスター）が見られるが、拡散は非常に限定されており、ウイルスがヒトに対して十分に適合していないことが示唆されている。
5	より大きな（一つあるいは複数の）集団（クラスター）が見られるが、ヒトからヒトへの感染は依然限定的で、ウイルスはヒトへの適合を高めているが、まだ完全に感染伝播力を獲得していない（著しいパンデミックリスクを有していない）と考えられる。
6	一般のヒト社会の中で感染が増加し、持続している。 小規模状態：パンデミック期が終わり、次の大流行（第2波）までの期間。 第2波：次の大流行の時期

当社のモットーは、「Positive mind」ですので、あまりネガティブなことは考えたくありませんが、現実はその甘く無さそうです。企業によっては、既にBCP（Business Continuity Plan）に基づいた行動を発動したところもあります。弊社では、こんな時だからこそ、世の中を明るくするお手伝いが出来ないかと考えています。パンデミックの先にはいろいろな問題が待ち構えています。指をくわえて何もしないでいることは出来ません。これまでスタッフひとり一人が培って来た知識や経験を活かして、皆さまのお役に立てる仕事をして行きたいと考えています。人数のわりには、守備範囲が広いので、いろいろな分野の仕事をごこなせます。大震災や台風の際は、比較的限られた地域の産業や生活が影響を受けましたが、今回のパンデミックは世界規模です。どの国の人も、どの地域の人や企業も、大小あれど何かしら影響を受けています。こんな時だからこそ、弊社がやれることで、世の中のためになって、皆を楽しく出来ることをお手伝いしたいと考えています。この新型コロナウイルスによる感染拡大が1日も早く終息に向かうことを祈ります。

2020 vol.094 Legend

檜垣俊幸がモノ申す! ⑫

「自問力」と「自答力」



ゼネラルプロデューサー 檜垣 俊幸

「ナチュラル イズ ベスト」

前回は、「自分の中の自分を見つけることが大切」という話をしました。自分の考えを「善」と「悪」に二分する「天使」と「悪魔」をつくり出して「それ、やめとけ!」と自分で制御する能力を培うことで「自然」＝「ナチュラル」な自分でいることができるのです。

自分の中の自分に問う力が「自問力」ならば、それに答える力こそが「自答力」です。よりベターな答えを得るためには「自答力」をレベルアップさせるための勉強が必要です。この能力を養う訓練をしておき、常に自分の中の「善」である「天使」の言う通りにするようにしましょう。と、いいたいところですが「好きだよ」と言っておきながら、本心は「いや、そうでもないんだけど……」といったようなことは、いくらでもあります。人から良く思われたいという心理も働いて、ことを荒立てず、その場をしのごうと本心じゃないことを言ったりやったりしてしまう。誰でも「正・反・合」という自我と非我は持っているのですから、これは仕方のないことでもあります。

あと「良い嘘」と「悪い嘘」ということもあります。「良い嘘」とは「誰も傷つけず自分以外が利する嘘」です。そして「悪い嘘」は「他者を傷つけ蔑ろにして自分だけが利する嘘」です。「自然派」は基本的に、物理的にも心理的にもだれも傷つけないことが前提ですから「良い嘘」しかつきません。

また、相手と自分の意見が違って相手も相手の意見を守り尊重し合うことを大切にします。そこから「考える」ということが出てくるわけですから、少数意見や多様性を重んじる民主主義の根本は文字通り「自然」なことなのです。一人の偏った多数決によるという、わけのわからない民主主義の時代はもう終わったのです。21世紀はそういうあり方で地球を考えていった方がいいんじゃないかという気



モデル：Emily / Height:170cm B:83 W:60 H:89
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

がします。

21世紀は地球を大事にする世紀

人類史規模でいえば、今世紀は「地球を大切に作る世紀」ということになるでしょう。21世紀は、そういう世紀なのです。「地球を大事にしよう」ということを一生懸命に考えないとダメだと思うのです。なぜならば、私たちはここに住んでいるのですから。自分が暮らす場所を美しく保ちたいと考えるのは「当たり前」のことでしょう。少しでもそう考えることができたなら、あなたはもう「ナチュラル派」です。

今世紀に生み出され、前世紀とは圧倒的に違うものといえば、まず「AI」が挙げられるでしょう。そして、「遺伝子操作」などが可能な「バイオテクノロジー」。「AI」と「バイオテクノロジー」は「自然とは真逆の存在」といえるかもしれません。しかし、それらが存在する今世紀に生まれた世代は、「AI」や「遺伝子操作」こそが「当たり前」と考える人類になるわけです。そのことが遠い未来、人類の危機につながるかどうかはわかりませんが、そういう世紀だからこそ「愛」を大切に

するように「ナチュラル」を大切にすべきなのです。私がここで述べたいのは、まず、皆さんは「そういう気がするかどうか」「地球を大切にしたいほうがいいような気がするかどうか」ということです。「危機感」を察する能力を持っているかどうか。「気がする」ということが、今、とても大切なのです。毎年3月11日を迎えるたびに、東日本大震災で目の当たりにした自然の猛威がよみがえります。地震と津波による被災のみならず、福島原発で起きたメルトダウンと放射性物質放出という未曾有の災害が起こりました。9年経った現在も未だ、帰還困難区域が7町村の広範囲に及び、県内外の避難者が79,226人もいる事態が続いています。自然の力によって、人類の英知を結集した「未来のエネルギー」と、今なお全国で推進されている発電所が呆気なく破壊され、この国に現在、放射能によって廃墟化した町があるのです。

そして今、世界は「新型コロナウイルス」に脅かされています。このウイルスが自然発生的なものか、遺伝子操作等による人為的な遠因による産物なのか、また、地球温暖化など環境問題に関係しているかどうかは定かではありません。しかし、人類が自然に抗えない事態に直面し続けていることは事実です。これらの現象から地球環境に思いが至らないのは、むしろ不合理だといえるでしょう。

今こそ自分の中の自分に「何をなすべきか」「どう考えるべきか」問うべきときなのです。さて、あなたの中の「天使と悪魔」は、何と答えるでしょうか？

今こそ自分の中の自分に「何をなすべきか」「どう考えるべきか」問うべきときなのです。さて、あなたの中の「天使と悪魔」は、何と答えるでしょうか？

T O M O K O O ' S R E C O M M E N D

このご時世なので、不要不急の外出をある程度控えていると休日は家にいる時間が長い。会社勤めのわたしも長く感じているのだから、休校中のお子様たちはさぞ時間を持て余しているのだろう。午前中に掃除・洗濯などが終わると昼食後は、読書かテレビを見る。夕方買い物に出掛けて 16 時半くらいから夕食を作り始めて、夕食が済んだらまたテレビを見る。このスケジュールに 2 度お昼寝をはさんでもテレビを見る時間が以前と比べてやたら長くなった。Netflix と DAZN と Amazon プライム・ビデオと YouTube など見るものが多すぎて時間が足りないし、休みの前は夜更かしとお酒も飲んで良いと決めているので、思った以上に楽しく巣籠もりしているのだ。（どのつまりコロナのせいではない。）YouTube 動画だと中田敦彦の YouTube 大学、吉田製作所、ダルビッシュのサブちゃんねる、PLANETS YouTube チャンネルなどを見ている。（見せられているものもある。）DAZN はプロ野球。Netflix はオリジナルドラマとアニメを数日交互に見ているから、もうほんと毎日忙しい（笑）話は戻るが、既に大人気の、あっちゃんの YouTube 大学はかなり面白いし、非常に勉強になる。どの動画も満遍なく完成度が高いのでお勧め動画は選べない。様々なジャンルを扱っているので自分の興味のある動画を選択して見て欲しい。私が好きな日本文学の名作シリーズは、ストーリー解説も面白く、現代との違いや例えが分かりやすい。続く解説と解釈も納得させられる。私は夏目漱石、夫は古事記の回が好き。巧みな話術に引き込まれて、毎日見てしまう自分がいると思う◎



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4 www.adproject.co.jp

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。
詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

adproject 公式 facebook を check してください。 adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

皆様の いいね！をお待ちしております。
facebook adproject 検索
もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>





ASSOCIATE PRODUCER：黒川和紀

■Title：動画配信サービス「ディズニー+（プラス）」

Project 1.

昨年11月12日に北米でサービスが開始された、ウォルト・ディズニー社が手掛ける新しい動画配信サービス「ディズニー+（プラス）」の加入者が早くも2,860万人を突破した。ブルームバーグによれば、「ディズニー+」の登場によりネットフリックスの株価は一時3.7%下落し、ネットフリックスが牽引してきた動画配信サービス業界に大きな影響を与えている。ユーザーの「ディズニー+」視聴時間は計130万時間と、アマゾン・ドット・コムが提供する「プライムビデオ」をさっそく上回る好調ぶりだとのこと。日本上陸時期は未定ではあるものの、ディズニーの海外ドラマや映画、アニメなどを楽しめるBSチャンネル「Dlife」の放送を「ディズニーが国内で展開する放送局の方針を検討した結果」、2020年3月に終了することが発表され、「ディズニー+」日本上陸への期待がさらに高まっているようだ。

東洋経済オンラインによると、日本でのネットフリックスの視聴者数は約300万人と増加傾向にあり、WOWOW、Huluなどの他社を抜いて前年度比伸び率77%と好調だという。今は、動画配信サービスが浸透する過渡期だ。アニメやドラマなどネットフリックスの質の高いコンテンツが視聴者数増加に大いに貢献している。日本でのネットフリックスの躍進は、従来型のテレビから動画配信サービスへとユーザーの視聴スタイルを大きく変える転換期を示しているともいえる。そして「ディズニー+」では『アラジン』『ライオンキング』だけではなく、『トイ・ストーリー』などのピクサー作品、昨年『アベンジャーズ/エンドゲーム』が大ヒットを記録したマーベル・シネマティック・ユニバース作品（『アイアンマン』『キャプテン・アメリカ』等）、そして言わずと知れた『スター・ウォーズ』まで網羅している。ディズニー作品をよく知らないという人でも、どこかで見たことのあるキャラクターが必ずいるのではないだろうか。加えて世界中の自然や芸術、科学などを特集する『ナショナルジオグラフィック』も観ることができ、「ディズニー+」だけで十分楽しめる仕様だ。これまでは、ケーブルテレビや地上波のテレビで楽しんできたユーザーが、低価格の動画配信サービスで、テレビだけでなくパソコンやスマートフォン、タブレットなどでいつでもどこでも作品を楽しめる時代になった。加えて、動画配信サービスでは基本的に放送時刻という概念がないことが多く、ユーザーが放送時刻に合わせる必要がない。自分が好きな時間に好きなように作品を楽しむことができ、その上CMもないためより作品に集中できる。さらに近年、アメリカでは動画配信サービスの人気が高まり、賞レースもネットフリックスやプライムビデオが席巻している。加入者だからこそ楽しめる作品が話題になることで、加入者は増える一方、視聴者同士の話題は「どの動画配信サービスに属しているか」で全く変わってくる。日本でも「ディズニー+」が上陸すれば、よりその動きは加速するだろう。今後、日本でのネットフリックスや「ディズニー+」の動きから目が離せない。

そしてこのニュースに最も注目しているのは、小さな子供を持つ子育て奮闘中のママたちであることは間違いない。



PRODUCER：須田潤一

■Theme：誰かのために何かをする

Project 3.


新型コロナウイルスの影響で、様々なことが世界中で起きてる中で、僕の知り合いで、頑張ってるやつを話します。彼は、よく現場に来てもらうフリーディレクターであり、実は小学校のPTA会長もやっています。2月27日（木）に安倍首相から学校休校の要望が発表され、28日（金）の登校を最後に、3月2日（月）からほとんどの学校が休校しました。その結果、卒業式は規模縮小や制限付き（親は親に来れないなど）様々な形で現在も模索されています。僕の長男も今年卒業で、卒業生と先生だけの卒業式が執り行われることになっています。そして、PTA会長をしてる、彼の学校も同じ状況下です。ただ、PTA会長をしている彼は、卒業生の親御さんから要望が多いことから、親と子が出席できるよう署名を集め、学校に嘆願し、できる限り出席することが可能な状況をつくっています。すごいなと思ったのは、まず彼に相談する周りの親御さんたちです。僕の小学校の周りには、安倍首相が発表したあとは、卒業式ということよりも、子供たちが帰ってくる、仕事への弊害などが取り沙汰される中で、彼の周りでは、真っ先に子供たちの卒業式をどうしたいか？を考えてることがすごいなと思、そのために行動できるPTA会長の彼もすごいな〜と、酒を飲みながら話を聞き感じたのがつい先週です。この状況下です。何とかしてほしい気持ちは、誰しもが同じです。ただ、少しだけ「誰かのために何かをする」を真似できるようにしようと考えています。追伸：その晩、大酒飲みのPTA会長は、ペロペロで帰りました。翌日、安否確認し問題ありませんでしたw

◆読者の皆様へ

イベントや集会などの開催が自粛される中、我々のような業種は暫く開店休業状態になっています。そこで、こんな時でないとならないこと、やれないことがないかと考えています。我々が得意とすることは、

- ・現場を仕切ること、整理すること。
- ・楽しいことをすること、子供たちと遊ぶこと、人を喜ばせること、感動を与えること。
- ・企画やアイデアを出すこと、臨機応変に対応できること etc.

あとは、スタッフ個人が、それぞれ学んできたことにより得意分野が異なります。人じゃないと出来ないこと、我々がサポートできること、何か考えていることがあったら、とにかくご相談下さい。少しでも可能性があれば全力で達成に向けて頑張ります！




Producer's column


What News

Coffee Contest 2020

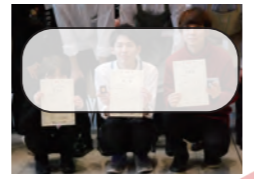
中止

EXECUTIVE PRODUCER：平田元春






バンドリッパとザワワの入賞者



ラテアートの入賞者



雪かきで歩道に雪無し

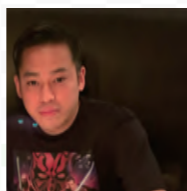
今年もいよいよ恒例の「Coffee Contest 2020」の予選大会が始まり、2月18日～19日に北海道予選に行つて参りました。今年は、例年の支社ではなく、初めて「札幌ベルエポック製菓調理専門学校」をお借りして開催しました。雪で搬入が大変でしたが（先ず雪かき）、順調に準備が完了。東京会場の設営の前々日に突然の電話！今後の予選大会の中止との事！（ガビ〜ン！）と言うことは。当然、5月の決勝大会も中止！今年の、新型コロナウイルスの怖さを実感させられました。厳しい予選を勝ち抜いた競技者の心情を思うと考えさせられます。弊社でも、数多くの仕事が中止・延期になっているようです。一日も早い終息を願うばかりです。皆様も感染に最大限注意しましょう。



三輪モーターサイクルcan-am

PRESIDENT： 檜垣 俊吾

カナダで鉄道車両や航空機で知られるボンバルディア社を母体としたBRP（ボンバルディア・レクリエーションプロダクツ）社。そのBRP社から誕生したトライク（3輪モーターサイクル）がCan-Amカンナム。2013年に日本上陸した際には、俳優の中村トオル氏を起用するなど注目を浴びた。その当時弊社は、競合のアメリカ企業、ポラリス社のPRを担当しており、このBRP社は近寄り難い企業であったが、現在はBRPジャパン社の広告宣伝の一部を業務委託されている。そのCan-Amの中でもサイズや価格を抑えたカンナム・ライカー（Can-Am Ryker）が昨年の春に発売された。従来のCan-Am購入者は、年齢層が高く、また長距離ツーリング用途が多いというが、このライカーは、2018年12月にアメリカで発売したところ、若者の需要や女性の人気が高く、また都市での短距離利用が多い結果となったという。フロント2輪、リア1輪の構造による優れた安定性と、スタビリティコントロール、トラクションコントロール、ABSで構成されるピークルスタビリティシステムで、安全かつ思いのままの走行を可能。また、47hpの2気筒600ccエンジンと、77hpの3気筒900ccエンジンが設定されていて、いずれもトランスミッションをCVTとすることで、アクセルを握るだけで運転が可能だ。ギアチェンジ操作を必要としないため、普通自動車AT限定免許で運転することができるのも大きな特徴。また車庫証明も必要ない。クルマに興味のない近所の子供達にもヒーロー的存在として間違いナシ！



僕らの世代のスーパースター

第1プロジェクト 秋葉悠介



弱冠17歳でNBAデビューを飾ってから引退するまでの約20年間、名門レイカーズの看板を担い、バスケットに触れた人であれば誰もが彼の特技「フェイダウェイ」を真似したことがあるでしょう。1月、NBAのスーパースター、コービー・ブライアント氏（41）がヘリコプター墜落事故に巻き込まれ亡くなりました。その日は日曜でまだ眠い目を擦りながらスマホをいじっている、私のSNS上では#Rip Kobe（追悼の言葉）の投稿で溢れ返っていました。正直すごいファンだったわけではありませんが、喪失感と同時にそれだけ偉大なプレイヤーだったんだと実感させられました。事故起因は交通渋滞を避けるために自家用ヘリを使い、濃い霧が起因となったようで我々一般人においては滅多に起こりえない事とは思いますが、国土交通省によると生涯で交通事故に遭う確率は53%。年間に交通事故に遭う確率は0.9%。100人に1人は1年に1回交通事故に遭う確率です。人生80年以上ありますのでその確率はグッと上がります。警視庁のデータによれば、交通事故の原因1位は安全不確認（年間約15.5万件）で、一時停止や減速をしたもののその後の安全確認（バックミラーや目視での確認）が足りないそうです。確率や件数を見ても自分には関係ないと捉える方もいるかもしれませんが、たった1度の事故で自分にも相手にも取り返しのつかない事になりますので十分気を付けましょう。

Project 2.

土井 晃範

■Title：本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます！



2020年もすでに3月に入り、遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。今年の1月でADP4年目に入りましたが、まだまだ狭い領域の中での業務のため、今年も変わらず1つでも多く新しい事に挑戦をしていこうと思っております。

2020年一発目の『adtain』ですので昨年に引き続き、恒例行事にしていこうと考えている簡単な自己紹介をさせていただきます。

東京オリンピックが開催される（であろう）2020年で私は35歳となりますが、18歳の時に山口県の防府市という田舎から上京して今年で17年目を迎え、来年には地元と同じ年月を東京で過ごしたことになります。とはいえ、山口県は私の中ではいつまでも大切な地元であり、TVやネットで「山口県」のテキストを目や耳すると気にはせざるはられない存在です。山口県と言えば本州の最西端ということをご存知な方は多いと思いますが、山口県に降り立った人は数少ないと思います。その理由が地元を離れて長く生活する中でなんとなく見えなくなりました。それは、観光名所が多く存在し美味しい食べ物で全国的に有名な「広島県」と「福岡県」に運悪く挟まれているからということに行き着きました。お金と時間を掛けてどうせ遠出するのなら私も山口県を選ばずその二県を選ぶはず。そこで今回は、山口県に足を運ばないと知りえないであろう山口県のご当地あるあるを一つ紹介します。

【オレンジ色のガードレールに違和感を覚えない】

私が上京をして一番驚いたのは「ガードレール」です。通常、ガードレールは白ですが山口県のガードレールはオレンジ色で、しかもオレンジ色なのは山口県だけのようです。これは事故防止の警告色ではなく、県花の夏みかん色。1963年の山口国体開催時に、選手をおもてなしするために塗り替えられたのがはじまりと言われてます。こんな奥深い山口県に一度足を運んでみませんか？



出典：「山口あるある」TOボックス



PRODUCER：岩下 信而

■Event：歌おう踊ろう♪泣こう笑おう♪怒ろう楽しもう♪

■Date：2020年2月21日ほか

■Place：国際フォーラムほか

Project 4.

1964年放送開始の「Music Fair」（CX系）の、2,800回記念コンサートの関係者席にご招待いただき、弊社の次世代のエンタテイメントを担う（仮）秋元、太田と観賞した。ステージ下手（客席から見て左側）に番組でおなじみのセットを配置して、ゲストのソファ・トークを収録。大画面でそれを放映しながら、同時にステージ中央では、次の出演者がスタンバイしていくのを暗転の中うつらと見せるとい、公開収録ならではの演出。森山良子、徳永英明、JUJU、ゆず、リトグリ、三浦大知…数多なゲストの中でもお目当ては平原綾香さん。表現力豊かな歌声とおっとりトークを堪能。みなさま、是非企業イベントやパーティにご依頼ください！さらに加山雄三さん。大病後とは思えない堂々たる歌声とステージング。ギターを奏する若大将を早く観たい。そしてもういるクローバーZ。ぼくはAKB系や乃木坂系が全く理解できず「ももくる」もひとからげに、放つたらかしにしておいたのだが、あーりん、ごめんよ。彼女たちは、しっかり（上手にじゃないよ）歌って、しっかり踊って、しっかり語る、さらにしっかり笑って周りをハッピーにする。トークのサゲで彼女たちの笑顔が抜かれるだけで撮れ高十分。「スリー・ビルボード」（2017）以来ぼくのお気に入り、サム・ロックウェルの出演作2本。「ジョジョ・ラビット」は、第二次世界大戦末期のドイツ、10歳のジョジョの視点から出会いと別れと成長が描かれる。靴紐を結べなかったジョジョが、ラストでは結べるようになる描写が秀逸。（中盤である人の靴紐を結ぼうとするけれど、上手くいかなくて、これが泣けるんだなあ）さらにジョジョの空想の友人としてヒトラーをコメディリリーフに使い、「抱きしめたい」のドイツ語版ではじまり、デヴィッド・ボウイの「ヒーローズ」のドイツ語版で終わるPOPな選曲により、ナチスの残忍性や戦争の悲惨さへ持って行かない演出もうまい。ナチス上官のサム・ロックウェルと母親のスカレット・ヨハンソン（弊社横田郁夫のイチオシ女優）の名演もあり、名作がまたひとつ誕生。実話を基にした「リチャード・ジュール」。純粋な正義感と、尊敬を集めた下心を持つ青年リチャードが冤罪に。キャシー・ベイツ演じる母、サム・ロックウェル弁護士がそれに立ち向かう。クリント・イーストウッド監督の今回の標的は、マスメディアのフェイク・ニュース報道。昨日までの「英雄」が、突然「怪しい男」と手のひら返しの無責任報道。情報の切り取りや、つぎはぎによる捏造報道。真実を報道することよりも、「視聴者受けするであろうと、勝手に思いこんでいる筋書き」の提供を選んだマスメディアの愚行を、イーストウッドは一挙両断！現在の地上波、新聞などマスメディアのフェイク報道に辟易しているぼくたちの溜飲を下げてくれる作品。件の枕営業のシーンは、プロットの中のワンシーンに過ぎず、騒ぎ立てたのはマスメディアのささやかな抵抗か（笑）。#MeToo騒動の際に覚えた英語。「枕営業」は「Couch Casting」だそうです。英語の方が腰にやさしそう、おっと、では次号、Ciao！

